



やなぎっ子

さいたま市立片柳小学校

TEL 048-683-3174

FAX 048-683-8971

<http://katayanagi-e.saitama-city.ed.jp/>

負けない心

校長 萩原 哲哉

連日、心を不安にさせられるニュースばかりが続く中、本日は久しぶりに子どもたちの笑顔に出会えました。理屈抜きで、子どもの笑顔というものは、周囲に力を与えてくれます。その笑顔のおかげで、「未来は大丈夫」を確信させてもらえます。改めて、学校という教育現場に関わらせていただいたことに、感謝したいと思います。

今回のようなことは、はじめてです。これまでも、地震や台風などにより、学校や世の中がさまざまな対応を求められることはありましたが、今回は前例のない、すなわち、参考にする対応例がない、という状況が、より不安感が増しています。これまでになかった、ということは、大人にとってもはじめてのこと、ということです。不安なのは自分だけではありません。だから、「一緒に」乗り越えていくしかないのです。

「コロナウイルスに負けるな」が、結論です。でもこれは単に、「手洗いをしましょう」「人ごみを避けましょう」「体力を十分につけておきましょう」といった、ウイルスの感染を防ぎましょう、という意味だけではありません。

「コロナウイルスのせいで勉強が遅れた。」

「十分な練習ができなかったから、(スポーツ)のレギュラーになれなかった」

「(卒業、入学、社会人デビュー)を、みんなで華やかにお祝いしてもらいたかった」

・・・すべて、その通りです。学校が休校になったのも、お祝い事や運動、人が集まる場所のお出掛けができないのも、すべて新型コロナウイルスが広がるのを防ぐための対応です。誰のせいでもない、誰かに怒りをぶつけることのできない、本当につらい気持ちにさせられる出来事です。

ただ、ここで終わってしまっていては、もったいない。まさに、自分の時間・人生が、新型コロナウイルスのために「奪(うば)われた」だけになってしまいます。すなわち「コロナウイルスに負けてしまった」ということになります。

思うように行動できないことや、うまく進まないことを、全てコロナウイルスのせいにしては、自分が損をします。「コロナウイルスに負けるな！」は、「コロナウイルスの流行で制限されている状況の中でも、しっかりと自分自身、やるべきことを考えて生きていくこと」の意味も含みます。

保護者の皆様方も、それぞれに御仕事や日常生活の中、さまざまな制約を強いられていることと存じます。医療関係に従事されている方は、まさに最前線で厳しい時間を過ごされていることとも推察いたします。その御苦勞を理解することは当事者以外には難しいものと思いますが、お子様や御家族のために、どうか御自身の御健康につきましても、十分に御自愛ください。

どうぞ本年度も、よろしくお願いいたします。